

2021年10月21日

株式会社電通国際情報サービス

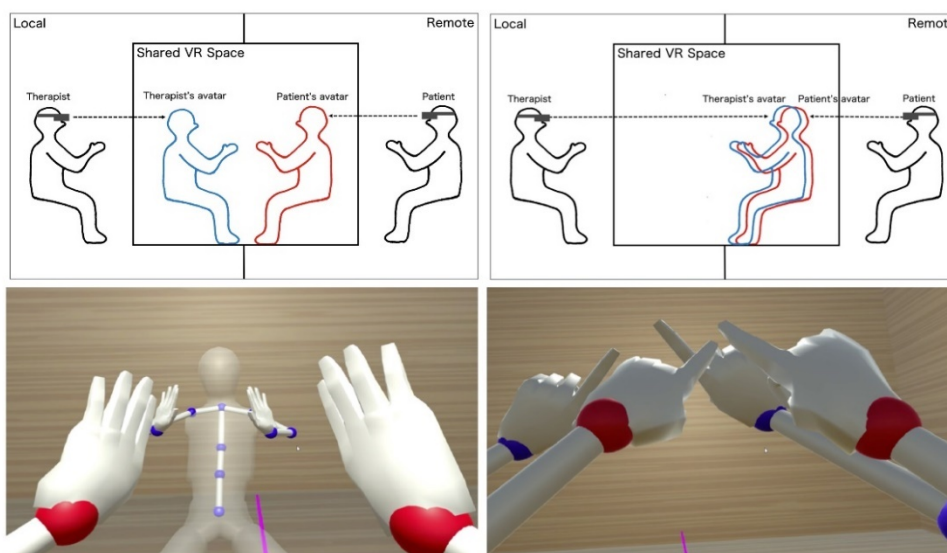
## 「幻肢痛 VR 遠隔セラピーシステム」が 2021 年度 グッドデザイン賞を受賞

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:名和 亮一、以下 iSiD) のオープンイノベーションラボ(以下イノラボ)が株式会社 KIDS(所在地:東京都文京区、以下 KIDS 社)と共同で企画・開発を手掛ける、「幻肢痛<sup>※</sup>VR 遠隔セラピーシステム」が、2021 年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。



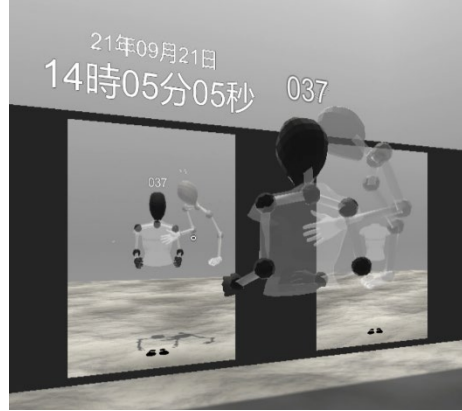
「幻肢痛 VR 遠隔セラピーシステム」は、離れた拠点にいる幻肢痛患者とセラピストが、同じ VR 空間内で位置関係や動作を共有しながらコミュニケーションをとることで、患者がセラピストを対面訪問しなくても、どこでもセラピーを受けられるようにする仕組みです。

現在、幻肢痛のリハビリを補助できるセラピストの数は全国的に少なく、患者の居住地によってはセラピーを受けるために、長距離の移動を要するケースも見られます。本システムは、一人のセラピストが遠隔地にいる複数の患者を同時に施術することが可能なシステムで、患者の居住地を問わず、より多くのセラピーの機会を創出します。さらに、VR 空間で患者同士がコミュニケーションを図ることができることから、患者同士の横のつながりが実現され、これまでにない関係構築をサポートします。



＜上:相手との位置関係を自在コントロールする仕組み 下:VR 空間における視界イメージ＞

イノラボでは現在、幻肢痛 VR セラピーを患者向けに行う KIDS 社と共同で、複数の幻肢痛患者の遠隔セラピーの実用化に向けた検証と、より多くの人に VR セラピーが届く仕組みを展開する計画を進めています。



〈左:患者向けテストの様子 右:VR空間における体験イメージ〉

### ■審査委員による評価コメント■

VRを使ったセラピーということで、一見テクノロジーの側面が印象に残ります。しかし本当に重要なのは、セラピスト不足の問題を抱えるなかで、患者同士のコミュニケーションを可能とし、助け合えるリハビリ環境を生み出したということであり、その点を評価したいと思います。また、当事者によってプロジェクトが立ち上げられ、進められているという、当事者研究の事例としても意義があり、ネットワークづくりなどのノウハウをぜひ他の疾患にも応用できるよう広く公開してほしいと願います。

### ■「幻肢痛 VR 遠隔セラピーシステム」について■

<https://innolab.jp/work/tele-communication/5663>

### ■電通国際情報サービス (ISID) について■

ISID は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」をビジョンに、社会や企業のデジタルトランスフォーメーションを、確かな技術力と創造力で支援しています。金融、製造、ビジネスソリューション、コミュニケーション IT の 4 領域で培ったソリューションの提供に加え、テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、顧客、生活者、社会の進化と共存に寄与するソリューションを生み出し続けます。詳細は、[公式 WEB サイト](#)をご覧ください。

※ 幻肢痛:事故や病気で手足を欠損または神経が断絶してしまい感覚がなくなった患者が、失った四肢に対して痛みを覚える症状。

\* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

#### 【システムに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス X イノベーション本部 オープンイノベーションラボ 森田、岡田、澤畑

E-Mail: [g-info-innolab@group.isid.co.jp](mailto:g-info-innolab@group.isid.co.jp)

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション部 赤瀬、金野

TEL: 03-6713-6100

E-Mail: [g-pr@isid.co.jp](mailto:g-pr@isid.co.jp)